「『藍で繋がる伊達愛プロジェクト』について」

北海道伊達高等養護学校

本校の学校教育目標

自ら学ぶ力を高め　豊かな心とたくましい体を育み
目標に向かって働く力を身に付け、
新しい時代の社会に貢献する生徒を育てる。

学校と地域の連携協働体制

○校内の体制

・「農業」「園芸」「窯業」「木工」「工業」「家庭総合」６つの学科が協力をして、藍の関わる活動を通して全校的に地域と繋がっている。

○地域の方々との連携

・学校運営協議会の委員の方々を中心に、本校の当プロジェクトに関する取組やその他本校と地域の連携を肯定的に捉え、全面的にバックアップいただいている。

・「当プロジェクト及び学校運営協議会担当者」が中心となり、地域の飲食店・菓子舗やボランティア団体、福祉施設、市内の保育所や小中学校と、藍の栽培や藍染を通した連携を積極的に推し進めている。

地域課題を解決するための多様な活動

○当プロジェクトの目標

1　伊達市の伝統工芸の一つである「藍染め」をとおして、地域の先人の思いや伝統文化・技術等を継承し、地域活性化の糸口に繋げる。

2　本校と地域とのWin-Winの関係構築に繋げる。

○本校と地域とのWin-Winの関係

【本校】

藍の収穫量向上や文化・伝統の継承による教育活動の充実や、生徒の経験の拡大、地域の方々との交流を図っている。

【地域】

藍に関わる文化・伝統のより幅広い層へ認知度向上及び伊達市が掲げる各種ビジョン・戦略に沿った取組と連携した活動として、地域の文化の発展に取組んでいる。

地域や生徒の変容・まとめ

○徳島県の高等学校との、電子会議システムを用いた交流学習で見られた生徒の主体的で対話的な学びの姿

○「藍育ファンディング」での協力者・賛同者（個人及び団体）の増加と、本校に対する理解や協力の深まり

○生徒からの、地域で新たな活動に取り組める楽しさや充実感をもっている旨の声

⇒本校と地域とのWin-Winの関係がより大きく強いものになりつつあると考えている。